

平成19年度 本宮市予算のあらまし

平成19年度の本宮市政がスタートしました。
合併後初の新年度予算は、一般会計がちょうど100億円となります。

平成18年度は旧本宮町が約59億4千万円、
旧白沢村が約35億円で合計94億4千万円でしたので、
比較すると5億6千万円の増額となります。

今月は、新本宮市の平成19年度予算編成方針と
一般会計、特別会計についてお知らせいたします。

予算編成方針

本宮市の平成19年度当初予算編成は、合併後初の本格的予算となることから、新市の円滑な運営の確保と均衡ある発展、新市の一体性の確保および市民福祉の増進を図ること、また、新市の健全な財政運営の確保および行財政改革の推進を念頭に編成しました。

新市基本計画との整合性を図りながら、税収入の確保、受益者負担の適正化等財源の確保に努める一方、依然として厳しい地方財政を取り巻く現況を踏まえ、各種施策の優先順位に基づき、財源の計画的・重点的な配分を行うとともに、経常経費については、引き続き経費を圧縮しながら、経済の動向に即応した機動的・弾力的な運営を心がけ、事業については、重点選別による調整を行いました。

一般会計では、合併前の旧町村当初予算合算額と比較すると6・0%増の100億円、国民健康保険など7つの特別会計の合計では、旧町村当初予算合算額と比較すると、4・3%増の86億8,992万8千円、水道事業会計の水道事業費用では、旧町村当初予算合算額と比較すると0・8%減の9億1,940万4千円となりました。

新市のまちづくりにあたっては、新市の将来像である「水と緑と心が結びあう未来に輝くまちづくり」の実現に向け、5つの基本目標が設定されています。平成19年度の重点施策についても、この5つの柱に基づいて一歩一歩着実に、かつ全力で取り組み、市民の皆さんとともに、魅力あるまちづくりを進めていきます。

基本目標第1 「豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり」

教育施設の環境整備および学習環境の充実、さらには地域と一体となった事業の展開など、ハード・ソフト両部門にわたり取り組むこととし、

予算は、1億2,593万6千円としました。

また、学習環境の充実については、教育の一環として市内の小中学校全10校の児童生徒に、広く文化・スポーツの実践の機会を与えることや、主体性を伸ばす体験活動および

豊かな心と確かな学力をはぐくむ学習の創造など、各校独自の特色を生かした学校運営活動を支援する小中学校メニュー選択性補助金を導入いたします。

基本目標第2 「住民と行政の協働による自立したまちづくり」

市民参加によるまちづくりの基本方針、基本構想計画の策定および行政改革などの推進、ならびに市民の声を行政へ反映させ地域活性化の支援などの重点事業に取り組み、

予算は、3,264万4千円としました。

また、新市の総合計画の策定については、基本的方針および施策の方向を定める基本構想、行政計画を示す基本計画、さらに具体的事業を示す

実施計画の策定について取り組みます。

さらに、男女共同参画社会の推進のため、男女共同参画プランの策定を行います。